



横浜市総合保健医療センター

しらすぎ通信

第188号

■発行日:令和 3年 8月

■発行:指定管理者

公益財団法人横浜市総合保健医療財団

■発行責任者:総合相談室長 伊藤未知代
〒222-0035

横浜市港北区鳥山町1735番地

☎045(475)0103 Fax:045(475)0101



理念:「個の尊重」「安心と信頼」を大切に、
質の高いサービス提供を目指します。

9月の行事食



9月15日(水) 選択食 夕食

- A) 鶏つくね照り焼き ポイル野菜つき
 - B) さんまの竜田あげ ※A・Bどちらか選択
- 他、栗ご飯・シルバーサラダ・キノコ汁

9月20日(月) 敬老の日 行事食 昼食

- 赤飯・天ぷら(盛り合わせ)・すまし汁・
- 野菜の炊き合わせ・春菊の菊花和え・
- 季節の果物(梨・巨峰)



暦の上では立秋を過ぎましたが、
まだ暑い日や熱帯夜が続き、涼しい
季節が待ち遠しいですね。

窓からは、お隣の日産スタジアム
のオリンピックの飾りつけの旗等
が見えましたが、無観客開催だった
ので周辺も静かでした。利用者様も
テレビ観戦などをしながら、穏やか
にお過ごしでした。

皆様、どうぞお健やかに過ごし
ください。

7~8月のご様子



作りましたよ♪



わあ♪
ステキ
ね~



オリンピックをTV観戦♪



美味しい♪



ガーデニングも
頑張ってます♪

9月「敬老の日」 行事のお知らせ



くじ引きやコーヒーを
楽しみながら、おやつの時間
をお過ごしいただく予定です。

各階ごとに実施する等、感染症対策には
十分注意してまいります。



老健内は、冷房で過ごしやすい温度です。
皆さま、快適に過ごされています♪



認知症コラム

ー認知症のある方とのコミュニケーション方法ー

身近な人が認知症になったら“どのように接したらいいのか”と悩むことはありませんか？ 記憶が失われているから「久しぶりに会ったときに私のこと覚えているのかしら」「話が通じるかしら」と心配なのではないでしょうか。

大丈夫です。心は通じています。

認知症を患っても感情は変わらないのです。温かい雰囲気や懐かしさなどの感情は障害されないからです。

今日は、どのように話をするとお互いに楽しい時間を過ごすことができるかを お伝えいたします。

**短い言葉で
ゆっくと、ゆったいと
笑顔でにっこり**



認知症は記憶の障害です。『記憶しづらい』ことには配慮をしましょう。

- 話は短く、要点を伝えるようにしましょう。
- 「あれ それ その」などの『あいまい』な言葉は苦手です。
- 実際の物を見せると理解しやすくなります。

上の子が学校を卒業して
旅行したから、おばあちゃんに！って
ほら、あれ、好きでしょ。
あとで渡すから使ってね。

〇〇（上の子の名前）が
大学を卒業したよ。
卒業旅行のお土産
（実際に見せながら）
使ってね！

認知症の方は、相手の表情や声のトーンなどに敏感です。不安な心理状態に配慮しましょう。



- 声は滑舌よく、明確に、低めのトーンで落ち着いて話しかけると良いでしょう。
- 身振りや表情を豊かに話しかけてみましょう。
- お互いに笑顔で会話を楽しみましょう。

【監修】看護部 教育委員会 教育研修グループ

令和3年2月以降、入所部門の関係職員へのPCR検査を定期的実施しています。7月末の検査結果も全員が「陰性」でしたことをご報告いたします。緊急事態宣言が発令され感染者数が増加している中、職員一同気持ちを引き締めて感染防止対策を継続していきます。